

令和4年度第1回ステップアップ自己研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和4年度 大阪府民スポーツ大会バスケットボール協議					
●日程	令和4年5月21日 (土)					
●会場	丸善インテックスアリーナ サブアリーナ					
●講師	細見 竜太 様 北村 仁 様 大倉 哲也 様 浅野 祐樹 様					
●スケジュール	令和4年5月21日 (土) 適宜会場入り 10:30 PGC 11:00 各自アップ 12:00 試合開始					
●担当試合	令和4年5月21日 (土) 13:00 ~					
	対戦カード	VS				
	主審	CC	池嶋氏	U1	伊達	U2 辻氏
	講師/主任	細見 竜太 様 / 北村 仁 様				
	講評	大きなトラブルが発生することなく試合が終えれたことは良かった。その中でもプライマリーとして判定すべきものを判定できなかった理由はなんなのかを自分の中で考えなければならない。トラベリングに対しての判定をトライしているが、基準をどこに合わせるのかが不明確で、1試合の中で迷っているのが伝わってきた。試合によって判定すべき基準は変わってくるものだが、そのラインを自分で設定する必要があると思われる。ファールコールに対して、POCの種類が疑問に感じるケースがいくつかあった。POCがなんの種類なのかを突き詰めて判定していく必要があった。				
自己の感想	大きなトラブルはなく1試合を終えることができたのは良かったことだった。その中でも判定すべきであったケース、マージナルとしてプレイを見ておくべきだったケースなど課題もたくさんあり、バスケットのプレイに対しての理解を深める必要があると感じた。また講評でも頂いたPOCの種類に関しては、突き詰めて何が良くなかったのか、周りに伝えるのにはどのファールの種類が伝わりやすいのかなどを検討する必要があると感じた。同様にトラベリングに対しても、難しいものを判定するのではなく、誰もが納得するものを判定していく必要があるため、自分の中での基準をもっと明確にすべきであったと学んだ。今回学んだことを次のゲームに活かしていき、よりよいゲームコントロールができるようにしていきたい。					

令和4年5月27日

大阪中学校体育連盟審判員

河崎 亮介

2022年度 第1回 ステップアップ講習会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和4年度 大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技						
●日程	令和4年5月4日 (水祝) ~		令和4年6月11日 (土)				
●会場	丸善インテックアリーナ大阪 他						
●講師	細見 竜太 様、北村 仁 様、大倉 哲也 様、浅野 祐樹 様						
●スケジュール	令和4年5月21日 (土)		丸善インテックアリーナ大阪				
	開講式なし 各自割り当て時間に合わせて集合						
	16:00 更衣の後PGC						
	17:00 W-up						
	17:45 コートin						
	17:50 コートインスペクション						
	18:00 実技開始						
	閉講式なし 適宜解散						
●担当試合	令和4年5月21日 (土) 18:00 ~						
	対戦カード	Black Jack		VS		タツタ電線	
	主審	主審	河崎	U1	平出 圭佑 氏	U2	國守 幹彦 氏
	講師/主任	大倉 哲也 様					
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・POCに課題がある。何がイリーガルでファウルが成立しているのかを考える必要がある。また、クルー全体でチームに「このプレーはファウルである」というメッセージをどのように伝えていくかが今後の課題である。 ・声を使ってもっとゲームをリードしてほしい。 					
	自己の感想	<p>今回、CCとして割当をしていただきましたが、クルーと協力しながらゲームをリードしていくことに難しさを感じたゲームでした。1QのEQQで発生したショットクロックバイオレーションのケースでは、プレーヤーやベンチのみならず、観客全員が「何が起こったのか」を理解できるように、声を使ってリードする必要がありました。判定については、エリア、アングルを意識しながら最後まで一貫して判定することができましたが、講師の講評にもあるように、POCの理解を更に深めていかなければならないと感じています。</p> <p>このようなご時世の中での研修会実施は準備も含めて大変なものだったと思いますが、今回大会を開催していただいた大阪府バスケットボール協会関係者の皆様ならびに審判委員会の皆様に深く感謝申し上げます。</p>					

2022年度 第1回 ステップアップ 自己研修会 参加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和4年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技						
●日程	令和4年5月21日 (土)						
●会場	丸善インテックアリーナ サブアリーナ						
●講師	細見 竜太 様 大倉 哲也 様						
●スケジュール	令和4年5月21日 (土)						
	9:45 PGC 10:20 Court in 10:30 実技講習開始						
●担当試合	令和4年5月21日 (土) 10:30 ~						
	対戦カード	大阪社体スポーツ専門学校			VS	Psychopath	
	主審	CC	北村 仁氏	U1	杉谷 雄大氏	U2	山口 翔
	講師/主任	細見 竜太様 大倉 哲也様					
	講評						
自己の感想	<p>良かった点は、一試合を通して、声を使って、試合を引っ張っていかうとしていたところ。遅らせて、プライマリを超えて吹いたケースに関して、メンタルは評価できるが、本当に鳴らすべきものだった事象だったかは、吟味する必要がある。</p> <p>反省点としては、Tにおいてのプレーの見方をもっとビックピクチャで見るべきだったこと、ポジションアジャストについてももっと工夫して次起こるべきプレーに対応できるようにしなければならない。テンポセットでもっと吹くべきものがあった。リーガルなのかイリーガルなのか、レフリーディフェンスの精度上げていく必要がある。プレゼンで余裕のなさが出る場面があった。試合終盤、トラベリングの判定が必要なところがあった。</p> <p>最後になりましたが、このコロナ渦のなかで研修会を企画運営、また開催していただきました、大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様、大会を運営されておりました大阪府バスケットボール協会の皆様に感謝申し上げます。有難う御座いました。</p>						

令和4年度 大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和4年度 大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技		
●日程	令和4年5月21日 (土)		
●会場	丸善インテックアリーナ サブアリーナ		
●講師	大阪府審判員会 インストラクター		
●スケジュール	令和4年5月21日 (土)		
	14:00 控室集合 14:30 PGC		
	16:15 控室集合 16:20 コートイン 16:30 tip off		
●担当試合	令和4年5月21日 (土) 16:30 ~		
	対戦カード	Pcychopath	VS 大阪経済大学B
	主審	CC:北野氏	U1:田中氏 U2:重松
	講師/主任	北村氏	
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・CからnewTになるときのポジションが高くなるため、ローテーションが来たからといってメカの動きに囚われず、はじめに捉えていたプレーを見届けてからTに入ると良い。 ・ゲームの入りでの笛が重かったように感じる。 ・ローカルルールで再開を急がないといけなかった場面こそ、声を使ってはっきりと伝わるようにするとよりよい。 ・レポートのジェスチャーがまだ早く見えるため、誰が見てもはっきりと伝わるように自分が思っているよりもさらにゆっくりとダイナミックにするとよい。 	
自己の感想	<p>今大会を使用させていただき、今年度もステップアップ自己研修会を実施していただけたことに感謝申し上げます。また、ご多忙の中、研修会にてご指導をくださった講師の皆様ありがとうございました。</p> <p>今回の自己研修会では、エリアを意識してレフリングをしようと課題を掲げて挑みました。その中で、良いポジションが取れない瞬間や判定できなかったケースもあったので次回に向けて自己研鑽を積んで今回よりも次回というようにブラッシュアップしていきたいと考えております。クルー間では、よいコミュニケーションをしっかりと取っていたのではないかと考えております</p> <p>また、講評でもいただいたテーブルレポートの件に関して自分の中では以前よりもゆっくりとしようと意識していても早く見えたりしているのでメカニクスとプレーコーリング、レポートの更なる向上に励んでいきます。</p>		

第1回ステップアップ自己研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和4年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技		
●日程	2022年5月21日(土)		
●会場	丸善インテックアリーナ サブアリーナ		
●講師	細見 竜太氏 北村 仁氏 大倉 哲也氏 浅野 祐樹氏		
●スケジュール	年1月1日 F1月1E		
	12:00 プレカン 13:30 試合		
●担当試合	2022年5月21日(土) 13:30～		
	対戦カード	履正社専門学校 VS BLACK JACK	
	主審	CC 森照代 U1	正水剛 U2 森山裕介
	講師/主任	浅野 祐樹氏、大倉 哲也氏	
	講評	時計管理やTO管理など、丁寧さに欠ける。気づいた時に、ゲームを止めて訂正などをするべきだったケースが多々あった。ゲームコントロールができていなかった。	
	自己の感想	ローカルルールでのゲームという中で、判定の部分ではなく、時計管理やTO管理などが1ゲーム通してできていなかった。レフリーとしての役割は判定することだけでなく、その他の部分でのコントロールすること把握することが大切なことは理解していたつもりだが、コート上でクルーとそれができていなかった。あらためて、ゼロから取り組みたいと思う。	

2022 年 度 第 1 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 自 己 研 修 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和4年度 令和4年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技					
●日程	令和4年5月21日 (土)					
●会場	丸善インテックアリーナ サブアリーナ					
●講師	大倉 哲也 様 浅野 祐樹 様					
●スケジュール	令和4年5月21日 (土)					
	11:45 控え室集合 12:00 PGC開始 13:00 控え室集合 13:15 コートイン 13:30 試合開始					
●担当試合	令和4年5月21日 (土)					
対戦カード	履正社国際医療スポーツ専門学校			VS		Black Jack
クレー	CC	森 照代	U1	正水 剛	U2	森山 裕介
講師/主任	大倉 哲也 様 浅野 祐樹 様					
講評	<ul style="list-style-type: none"> ・TOのトラブルが起こった際には、TOとコミュニケーションをとりながら、丁寧に対処する必要があった。 ・メカニックについては、前半はスムーズにローテーションができていたものの、後半になってやや重たくなる場面があった。プレーの内容を見極めながら、判断する必要があった。 ・プレーコーリングについては、概ね問題なく行っており、ゲームの内容について問題なく判定できていた。 					
自己の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・プレーコーリングについて ファウルは、オヴィアスなプレーについて判定(コール)することができた。しかし、トラベリングについてはもう少し取り上げるべきプレーがあった。 ・プレゼンテーションについて 問題なくできた ・メカニックについて どのポジションにおいても2対2をとらえるように意識し、ポジションアジャストしながらレフリングはできた。あとは、キープレーヤに対しての対応力をもっと高める必要があった。 ・TO管理 コミュニケーション不足だったと感じた。大きなトラブルになる前の小さなミスがいくつかあった。そういった際に、もっとTOとしっかりコミュニケーションを取り、スムーズなゲーム進行につなげる必要があった 					

2022 年 度 第 1 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 自 己 研 修 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和4年度大阪府民スポーツ大会 バスケットボール競技		
●日程	令和4年5月21日 (土)		
●会場	丸善インテックアリーナ サブコート		
●講師	細見竜太様 北村仁様 大倉哲也様 浅野祐樹様		
●スケジュール	令和4年5月21日 (土) 開講式無し 各自試合時間に合わせて会場入り 12:00～ カンファレンス 13:30～ 試合開始 閉講式無し 適宜解散		
●担当試合	令和4年5月21日 (土) 13:30 ～		
	対戦カード	履正社国際医療スポーツ専門学校	VS Black Jack
	主審	主審 森 照代 氏	副審 正水・森山 裕介氏
	講師／主任	大倉哲也様・浅野祐樹様	
	講評	<p>・判定に関して大きな事象が少なかったがしっかり判定できていた。</p> <p>・TOのミスに対しての対応を丁寧にする。どれだけ良い判定をしてもゲームに締りが無くなってしまう。</p> <p>→ゲーム進行中の交代できないタイミングでブザーが鳴ってしまった時、そのままゲームを継続させるのではなくTOと確認を行い、ゲームをリスタートさせること。</p> <p>・リードで24秒タイマーのミスに気づいた場合でも、クルーチーフメンタリティーで訂正を行うこと。</p> <p>・シュートを放ったボールが直接リングに挟まってしまった時の24秒の処置が間違っていた。正しいルールを適用すること。</p> <p>・リードでのクローズダウンポジションをもう少し内側にし、ローテーションのタイミングを図ることで、判断に迷ったり、プレーに振られることが少なくなる。</p>	
自己の感想	<p>ゲーム全体の印象は、大きな出来事もなく落ち着いた展開であったと感じました。そのゲームの中でも講師の反省にもあったようにクルーチーフメンタリティーを出せる場面があったと自分でも感じました。ブザーのミス・24秒タイマーのミスと気づいていたが対処できませんでした。ゲームを止めるタイミングであったり、間違いに気づくのが早ければ対処できたと思います。TOミスなどはすべてのカテゴリーでもありうることなので意識して対処できるようにしていきたいです。</p> <p>最後になりましたが、今回の講習会を開催して頂きありがとうございました。今回の講習会を今後の審判活動に活かして参ります。</p>		

2022 年 度 第 1 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 自 己 研 修 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和4年度 大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技					
●日程	令和4年5月21日 (土)					
●会場	丸善インテックスアリーナ サブアリーナ					
●講師	細見 竜太 様 北村 仁 様 大倉 哲也 様 浅野 祐樹 様					
●スケジュール	令和4年5月21日 (土)					
	各自会場入り					
	10:30 PGC					
	11:00 更衣、各自ウォーミングアップ					
	11:45 コートイン、コートインスペクション					
	12:00 試合開始					
●担当試合	令和4年5月21日 (土) 12:00 ~					
	対戦カード	クレバー		VS	大阪経済大学A	
	クルー	CC	池嶋 一幸	U1	伊達 桃子 氏	U2 辻 良平 氏
	講師/主任	細見 竜太 様 北村 仁 様				
	講評	<p>・クルー全体として大きなメカの崩れもなく1ゲームを終えることができました。しかし、手の使い方を整理することによって、よりクリーンなゲームにできたのではないかと。</p> <p>・ベンチメンバーが座らずに立っていることが多々あった。判定以外でのベンチコントロールも非常に大切なことなので、声かけだけで改善がされない時は第2、第3の手を打たないといけない。</p> <p>・必ず笛を入れないといけないケースでのブロックチャージがあった。セカンダリーとしてブロッキングの判定を入れたが、オフenseチャージの可能性もあったのではないかと。判定をしたことは良かったが、オフenseの開始時まで視野に入れておけばより良かった。</p> <p>・CCとして冷静にゲームコントロールや判定はできていた。しかし、プレゼンに関してはよりダイナミックに大きく見せる工夫が必要。魅せ方でベンチやプレイヤーの納得具合も変わってくる。</p>				
	自己の感想	<p>・PGCで両チームの情報を3人で提供し合い、トラベリングの判定基準やコートデザイン、チームファウル等の確認事項をしっかりと行えてコートインできたことはよかった。</p> <p>・ゲームフローをもっと感じながら、笛を入れるべきだった。ブロックチャージの判定をセカンダリーとしてコールする場面があった。結果はブロッキングで判定をしたが、ひとつ前のプレイやこれまでのゲームの流れを感じていて、オフenseの開始時まで予想できていればチャージとして判定もできたのではないかと。今までの自分ならノーコールにしていたと思うので、判定をしたことは良かったが次のステップアップとして考えさせられるケースだった。</p> <p>・ショットとリバウンドファウルが同時に起こるようなケースがあった。結果的にはノーコールにしてしまった。シュートの成功にかかわらず、ゲームをクリーンにするためには笛が必要な場面だった。そして、体の向きが少し違うだけで、そこに視点を置いていないようにも見えるので、角度や姿勢を徹底しないとけない。</p> <p>・自分自身初めてステップアップ講習会でCCを務めさせていただいた。CCMを持ってゲームに臨み、1ゲーム終えれたことは自信になった。しかし、自分自身の最大の課題であるプレゼンによって説得力も変わってくるので、また映像研究や自己研鑽を重ねチャレンジしていきたい。ありがとうございました。</p>				

令和4年度大阪府民スポーツ大会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和4年度 大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技 決勝トーナメント		
●日程	令和4年5月21日 (土) ~ 令和4年6月11日 (土)		
●会場	丸善インテックアリーナ サブアリーナ		
●講師	細見 竜太 様 北村 仁 様		
●スケジュール	令和4年5月21日 (土) 各自会場入り 10:30 PGC 11:00 更衣・ウォーミングアップ 11:45 コートIN 11:50 コートインスペクション 12:00 ゲーム開始		
●担当試合	令和4年5月21日 (土) 12:00 ~		
	対戦カード	クレーバー	VS 大阪経済大学A
	主審	主審 池嶋 一幸 氏	副審 U1:伊達 桃子 氏 U2:辻
	講師/主任	細見 竜太 氏 北村 仁 氏	
	講評	後半になってテンポよくコールできていた印象があるが、「後半になって調子を上げてきた」という感じだったので、今後はゲームのはじめからのテンポセッティングなど、判定の一貫性が求められる。特に前半で、自分のプライマリでの明らかなファウルの現象に笛を入れられなかったケースがあり、そうなってしまった原因を追求することが必要。 プライマリーエリアとアングルの意識からステイショナリー & ディスタンスに繋げ、コールできれば良いのではないかと。 POCが違うことがあったので、どの部分にコンタクトがあって、どうなったらファウルというところまで追求する必要がある。	
	自己の感想	初めてのステップアップ研修会でのレフリーということで緊張していた部分がありましたが、CCの池嶋氏を中心にクレーのお二方が積極的にコミュニケーションをとってくださったおかげで、今持てる自分の力は発揮することができたと思います。 その中で講評でもいただいたように、メカニクスやプレイコーリングの理解不足による判定の一貫性を欠いていたことが最大の課題だと感じました。課題を解決していくために、今後はマニュアルをさらに読みこんだり、映像を見て自らのレフリーをふり返ったり、見ていただいた方に助言をいただいたり、割り当ていただいた担当ゲームで自ら課題を設定してチャレンジしたりということを繰り返していきたいと思っています。 また、今回の担当ゲームはゲームタイマー流しというローカルルールを適応してのゲームでしたが、その中でTO管理やゲームマネジメントをどのようにしていくかというところが難しかったです。 これまで自分が経験してきたゲームよりも高いレベルのゲームを経験することができ、クレーの方にもめぐまれてとても勉強になりました。今回の経験を生かし、今後のレフリー活動を通じて自らのスタンダードいレベルをより高めていきたいと思っています。 ありがとうございました。	

2022年度 第1回ステップアップ自己研修会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和4年度 大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技						
●日程	令和4年5月21日 (土)						
●会場	丸善インテックアリーナ サブ						
●講師	大阪府審判委員会インストラクター部						
●スケジュール	令和4年5月21日 (土)						
	14:30 PGC 15:10 アップ 16:20 コートイン 16:30 トスアップ						
●担当試合	令和4年5月21日 (土) 16:30 ~						
	対戦カード	Psychopath			VS	大阪経済大学B	
	審判	CC	北野謙悟 氏	U1	田中孝史	U2	重松志保 氏
	講師/主任	浅野 祐樹 様 北村 仁 様					
	講評	ローカルルールでメインクロックやショットクロックの管理が難しい中、クレーで協力できた事は良かった。 プレイを予測して判定するのは良いがRSBQの影響が出てから笛を吹く方が良い。それによりマージナルとして判定するケースが増えるため。 ターンオーバー時、ニューリードからバックコートのファウルを3番手として遅らせたタイミングで判定できていた。					
自己の感想	良かった点はメカニクスに関してスムーズにローテーションし、崩れる事もなくクレーで協力出来た事。クロック管理をローカルルールで難しい中、協力し合えた事。また、ニューリード時にバックコートの明らかなファウルを3番手として吹けた事。 反省点としてはプレイを予測して判定はしてるが、RSBQの影響が出ていなくて笛を吹いてるケースがあり、それによりマージナルとしてノーコールにした方がゲームはスムーズに展開されているケースがあった。 今後の自身の課題は今以上にCCメンタリティの意識を強く持つ事、ルール・ガイドラインに忠実に取り組む事と感じます。 最後になりましたが、このコロナ渦の中で研修会を企画運営、また開催して頂きました、大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様、大会を運営されておりました大阪府バスケットボール協会の皆様、有難う御座いました。						

第 1 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 自 己 研 修 会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和4年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技						
●日程	令和4年5月21日 (土)						
●会場	丸善インテックアリーナ サブアリーナ						
●IR	細見 竜太 様 、 北村 仁 様 大倉 哲也 様 、 浅野 祐樹 様						
●スケジュール	令和4年5月21日 (土) 各自割当時間に合わせて集合 17:00 PGC 18:00 担当ゲーム 終了後、適宜解散						
●担当試合	令和4年5月21日 (土) 18:00 ~						
対戦カード	Black Jack		VS		タツタ電線		
主審	CC	河崎 亮介	U1	平出 圭佑	U2	國守 幹彦	
IR	細見竜太 様 、 大倉哲也 様						
講評	見てくださっていた方々からは、3人ともコンタクトと責任までは捉えられているが、その後のRSBQまでをもっと考慮していかないといけない。倒れるケースが多くあったが、その原因はなんなのか？イリーガルなコンタクトがそこにはあったのではないか。UFではないか？と思われるケースがあったが、コミュニケーションを取ろうとしているクルーがいるので、1人で決めて対応してしまわずに、クルーで話し合ってからクルーとしての決断をすべき場面があった。						
自己の感想	思い切って判定できている場面もあったが、全体としては悪いものを整理できていないゲームでした。また、ノイズが入って処置を誤るなど、レフリーとして冷静にしなければならないことができていませんでした。1月の研修会から自分に足りないもの、考え方があたり取り組み方があたりを変えなければならないと思い、いろんなことを考えて試してきたが、成長できる内容ではなかったなと感じました。単にファウルなのか、ノーコールなのかということではその場面を切り取っての判断であり、レフリーとしてはゲームの流れを感じながら判定をしていかなければならないと感じました。自身が成長するために、これまで担当させてもらったプレイヤーのためにも、これから担当させてもらうゲームでレフリーとして何をしなければならないのかをもう一度考えて取り組んでいきます。ルールブックやマニュアルに還り、0からレフリーを勉強し直します。今回の研修会に参加させていただき、本当にありがとうございました。						

第 1 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 自 己 研 修 会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和4年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技				
●日程	令和4年5月21日 (土)				
●会場	丸善インテックスアリーナ(サブコート)				
●講師	北村 仁 様 浅野 祐樹 様				
●スケジュール	令和4年5月21日 (土)				
	14:00 会場入り				
	14:30 審判控室集合・PGC				
	15:00 各自ウォーミングアップ				
	16:10 コートイン				
	16:30 ゲーム開始				
●担当試合	令和4年5月21日 (土) 16:30 ~				
	対戦カード	Psychopath		VS	大阪経済大学B
	CC	北野 謙悟	U1	田中 孝史	U2 重松 志保
	講師／主任	北村 仁 様			
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのトスアップが低い。 ・ゲーム序盤で自分のプライマリのケースで笛が鳴らないケースがあった。 ・クロックの管理に意識を持っていたことは良かった。 ・チームファウルの情報共有がクルー3人で適切に確認できていなかった。 ・テーブルプレゼンは、ゆっくりとはっきりと目の高さで行う方が良い。 			
	自己の感想	<p>ご多忙の中本研修会を開催して下さった関係者の皆様誠にありがとうございました。3POでの慣れないCCでしたが、ゲーム開始のトスアップが低く、適切なトスからゲームを始められるように心がけたいと思います。試合時間が流しの中、クロック管理への意識を40分間持ち続けることができたのではないかと思います。バックコートで起きたイリーガルなプレーに対して、ニューセンターで起きたものを、ニューリードからヘルプしてもらったが、バックコートのプレーに対して、コートに正対して目を残して走っていれば、きちんと判断できたはずなので、CtoCのメカの部分を改善したい。クルーワークでは、ネクストボーナスやシューターの確保などもっと声も使ってリードしていきたい。まだまだゲーム序盤のテンポセットの場面で、プライマリのケースできちんと判定できていないので、本研修会で得た経験や改善点を次回に繋げていけるように自己研鑽していきたいです。</p>			

令和4年5月28日

大阪U15部会審判員

國守 幹彦

第一回ステップアップ研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和4年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技			
●日程	令和4年5月21日 (土) ~			
●会場	丸善インテックアリーナ サブアリーナ			
●講師	細見 竜太 様		北村 仁 様	
	大倉 哲也 様		浅野 祐樹	
●スケジュール	令和4年5月21日 (土)			
	開講式なし 各自割り当て時間に合わせて集合 13:00 会場入り 割り当てゲームのスカウティング 16:00 PGC 17:45 コートイン、コートインスペクション 18:00 ゲーム開始 閉講式なし ゲーム終了後適宜解散			
●担当試合	令和4年5月21日 (土) 18:00 ~			
	対戦カード	Black Jack	V S	タツタ電線
	主審	CC : 河崎 氏	U1 : 平出 氏	U2 : 國守
	講師/主任	細見 竜太 様		大倉 哲也 様
	講評	・POCの確認に課題がある方感じた。何がシリンダーを超えて、Foulが成立しているのかの確認。 ・2Qのshot clock violationはBallが出た時には1秒残っていたが、成立にしてしまったcase。答えを持っている人が確実に訂正しに行く。 Crew workの意識を高くすること。 ・T0レポートの時、F T shooterの確保、ツーモア、ネクスト等、声を使ってゲームをリードすることも大切。		

	自己の感想	<ul style="list-style-type: none">・メカニクスに関して大きな崩れはなかったが、L rotationのtimingをワントempo早く開始すべきであったcaseがあった。・Crew Workについては、2Qのshot clock violationの成立か否かの答えを持っていた（残秒1秒）にもかかわらず、Crewによらずに任せてしまった。正しい訂正をすることでPlayer、Bench、観客の信頼を得ることになるので答えを持っているのであれば寄るべきであった。・Foul CallがDouble Callになっているcaseが多く、誰のprimaryなのか、check -in、check -outの意識を高めなければならないと感じた。その原因になっているのが、私がCallするtimingが遅いためDouble Callになっているcaseもあったように感じる。どのtimingでCallするのが効果的かまで考えてCallするべきであった。・POCについては本当にそれがあっているのかを確認するべきであった。POCが違くとPlayer、HCからの信頼が薄くなることが考えられるので正しい理解を深めるべきである。 <p>ゲーム自体は接戦のゲームだったので、ゲームの中でrefereeの判定が果たしてPlayer、Bench、観客とマッチしていたか、Callしたものへの理解がなされていたかが疑問に残るところであり、そこがマッチしていればよりよいゲームになっていたのではないかと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none">・最後になりましたが、まだまだコロナが落ち着いていない状況の中で研修会の企画運営ありがとうございました。今回の経験や講評を今後の活動で実践していきたい。
--	-------	---